

【近山恵子の歩み】
 ——女性運動家・仲間との「友だち家族」の歴史

友だち家族の歴史 (小西綾、駒尺喜美、近山恵子、榎引順子、佐々木敏子)		女性・コミュニティの動き	日本と世界の動き
明治37年	1904年 小西綾 大阪に生まれる	1904年 平塚雷鳥ら「青鞜」を刊行	1904年 日露戦争～05年まで
大正8年	1919 小西綾(15歳) 父死去。親戚宅で肩身狭く暮らすより自力で家族を養おうと鐘紡中島工場に就職。洋装を始める。	1914 宝塚少女歌劇初公演 1918 武者小路実篤「新しき村」開村 1920 アメリカで女子参政権認められる 1922 大阪松竹少女歌劇団創立 有島武郎、北海道狩太農場四百町歩を小作人へ解放	1914 第一次世界大戦～18年 1917 ロシア革命、史上初の社会主義国ソビエト連邦誕生
大正12年	1923 小西綾(19) 会社の女子事務員を集めて、読書会、演劇をする。	1925 細井和喜蔵著『女工哀史』出版	1923 軍縮の為、東京・大阪の砲兵工廠職工ら解雇
大正14年	1925 小西綾 同僚の女性のセクハラのために闘う、女性は守れたが、左遷。また最初応援すると言った男性たちが、上役の一言で寝返ったため、替えのきく仕事では、真の自立ができないと考えるようになる。 駒尺喜美 大阪船場に生まれる。母親から名前を呼ばれず「あんた」と呼ばれていたため、小学校入学まで自分を「あんた」と思っていた	1926 ココ・シャネル(42)リトル・ブラック・ドレス発表ーコルセット無し、黒一色、膝丈スカートで、シンプルで動きやすい服装が女性の支持を受ける。 有島武郎、婦人公論記者波多野秋子と心中する	1924 関東大震災 1925 経済不況、大学中退者急増。 男子普通選挙制・治安維持法制定
昭和3年	1928 小西綾(24)家族を養うため、喫茶店を開く。屋は鐘紡の勤めを続ける	1928 アムステルダムオリンピックにて、人見絹枝陸上800mで銀メダル獲得	1929 世界恐慌起こる 大卒者の就職深刻化、東大卒就職率30%、小津安二郎映画「大学は出たけれど」
昭和5年	1930 小西綾 ストライキに加わり、鐘紡を解雇。マージャン店、喫茶店経営で生計をたてる。第2人は映画カメラマン、宝塚歌劇衣装デザイナー、妹は女優後洋裁、技術職として、自立の道へ	1930 同潤会大塚女子アパートメント設立*	1930 米価・農作物価大暴落。失業者40万人、自殺者1万3942人
昭和11年	1936 小西綾(32)弟妹が自立したため、自分の勉強の番と、喫茶店売却、新築地劇団マネージャーとなる		1931 軍縮で海軍工廠職工解雇。東北・北海道冷害。満州事変勃発 1932 満州国建国、満州に武装移民団出発。独ナチス党第1党となる 1934 大企業の満州進出、続々。軍需景気で、熟練工ひっぱりだこ 1935 東北冷害、食糧難。 当時の平均寿命、男44.5歳、女 46.5歳
昭和15年	1940 小西綾(36)新築地劇団員と共に検挙、劇団解散となる。特高警察に軍需産業へ行けと言われ、知人の鉄鋼所へ。のちに後製薬会社へ* 駒尺喜美(15)大阪松竹少女歌劇団、秋月恵美子の「追っかけ」になる		1936 二・二六事件 陸海軍現役大臣制復活 1938 国家総動員法公布(物価統制、人員徴用、言論統制などが可能) 1939 ドイツ、ポーランド侵入し、英仏と開戦(第二次世界大戦始まる)
昭和16年	1941 駒尺喜美 大谷女子専門学校入学、学校へ行くふりをし「追っかけ」は継続。	1945 女子普通選挙制成立	1940 大政翼賛会発会式 東京オリンピック中止 ダンスホール閉鎖
昭和20年	1945 小西綾(41) 敗戦「よっしゃ、これからは婦人の解放や」、手作りの人形を売って活動資金をつくる。	1946 婦人民主クラブ結成 初代会長佐多稲子 京都人文学園開校(～50年)* 鶴見俊輔ら「思想の科学」創刊*	1941 日本第二次世界大戦に参戦 東条内閣組閣 1945 日本無条件降伏し敗戦
昭和21年	1946 小西綾 婦人議員擁立の活動		
昭和22年	1947 駒尺喜美(22) 京都人文学園入学 小西綾「関西自由懇話会」始める		1947 日本国憲法施行
昭和23年	1948 小西綾ら「関西婦人民主クラブ支部」結成	1948 「美しい暮らしの手帖」(のち「暮らしの手帖」)創刊	1948 極東軍事裁判判決
昭和24年	1949 小西綾 「近代女性講座」始める 近山恵子 新潟県西蒲原郡に生まれる	1949 ポーポワール「第二の性」フランスで出版、「人は女にうまれぬ、女になるのだ」	
昭和25年	1950 駒尺喜美 京都人文学園卒業、小西綾を紹介される		1950 朝鮮戦争始まる(～53年休戦) 警察予備隊創立
昭和26年	1951 小西綾 婦人民主クラブ書記長となる為、上京 榎引順子 東京都大田区に生まれる	1951 日本生活協同組合連合会創立	1951 サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約調印
昭和27年	1952 小西綾、駒尺喜美 大塚女子アパートで同居 佐々木敏子 東京都新宿区に生まれる	1952 衆議院総選挙投票率75.76%、男80.46%	1952 日本ヘルシンキオリンピックに戦後初の参加

【近山恵子の歩み】
——女性運動家・仲間との「友だち家族」の歴史

友だち家族の歴史 (小西綾、駒尺喜美、近山恵子、榎引順子、佐々木敏子)		女性・コミュニティの動き	日本と世界の動き
昭和28年	1953 小西綾(49) 婦人民主クラブを辞め、「組織に頼らない」活動開始 駒尺喜美(28) 大谷女子専門学校卒の資格が幸いし、法政大学へ編入できる		1953 NHKテレビ放送開始
昭和30年	1955 小西綾(51) 農村作家山代巴さんに誘われて、広島「母と女教師の会」など、各地の農村や働く婦人の集まりで講演 広島「銀河の集い」結成1960年代半ばまで続く	1955 家庭電化時代始まる	1954 福電丸ビキニ水爆被災事件 陸海空自衛隊発足 「金のたまご」ともいわれた、集団就職列車運行開始
昭和31年	1956 小西綾、広島「市民大学講座」、「人の話を聞いたなら疑うこと、必ず調べることをやらんとダメです」	1956 日本住宅公団、初の入居者募集 ココシャネル(73) シャネルスーツ発表、アメリカの働く女性から爆発的人気を得る	1955 第一回原水爆禁止世界大会、広島で開催 森永ヒ素ミルク中毒事件*
昭和38年	1964 駒尺喜美(40)『芥川龍之介論』上梓	1959 ポーポワール著『第二の性』日本で出版 東京ひばりが丘団地造成、マンモス団地の端緒、集団就職等で15~24歳の労働人口が急激に増加、住宅不足解消の為	1956 日本国際連盟に加盟 水俣病公式確認となる。国が公害と認めるのは、12年後
昭和41年	1966 小西綾、駒尺喜美 新宿区曙町マンションへ転居	1961 アンネナプキン発売 1963 女性のための投稿誌「わいふ」創刊*	1957 東海村の日本原子力研究所原子炉臨界。「平和利用」を目指す 1959 キューバ革命
昭和42年	1967 駒尺喜美『芥川龍之介の世界』上梓	1966 丙午(ひのえうま)で、出生率が前年の25%減。 ポーポワール、サルトルと共に来日*	1960 60年安保、池田内閣 所得倍増計画発表 1961 ベルリンの壁 建設始まる
昭和43年	1968 駒尺喜美『芥川龍之介作品研究』	1968 参議院選挙で、初めて女子の投票率男子を上回る。女68.97%、男68.89%	1964 東京オリンピック開催 1965 「ベトナムに平和を！市民文化団体連合(ベ平連)結成 1966 三里塚築山連合空港反対同盟結成 ピートルズ、日本武道館で公演 1967 独身婦人連盟結成(~2002)* 1968 日本政府が、「水俣病」を公害病と認定。 全国16大学で学園闘争 米キング牧師白人男性に銃撃され死亡
昭和44年	1969 小西綾(65) 国立市市民講座に招致され「新聞を読む会」始める(~79年)		1969 アポロ宇宙船月面着陸
昭和45年	1970 駒尺喜美『漱石その自己本位と連帯と』出版、法政大学専任講師となる	1970 「ぐるーぶ闘う女」女性解放を訴え、初の街頭デモを行う。 第一回ウーマンリブ大会 1972 新宿リブセンター開設(~77)、 中ピ連(中絶禁止法に反対しリブ解禁を要求する女性解放連合)結成(~75)	1970 70年安保、日本万国博覧会 米ニューヨークにて初のゲイパレードが行われた
昭和49年	1974 駒尺喜美(49) 法政大学初の女性教授となる	1974 第一回魔女コンサート* 1975 国連の国際婦人年始まる(~85年) ハウス食品のCM「私作る人、僕食べる人」の台詞が性的役割分担の固定化につながるのと婦人団体の抗議を受け、2か月で放送中止。	1972 沖縄返還、 グアム島にて元日本兵横井庄一発見、28年ぶりに帰国。 情報案内誌『ぴあ』創刊(~2011) あさま山荘事件 ローマクラブ「成長の限界」発表* 日中国交正常化
昭和51年	1976 小西綾(72) 第二回魔女コンサートに出演、中山千夏さんらウーマン・リブ若い世代とつながった ●近山、小西綾の講演を聞き感銘を受ける 榎引(25) ホーキ星運営メンバーとなる	1976 ホーキ星開店(~79年)* 第二回魔女コンサート	1973 オイルショック 1974 佐藤栄作元総理大臣、ノーベル平和賞受賞 セブンイレブン第一号店(東京都江東区豊洲)オープン ベトナム戦争終結 この頃スーパーマーケットでポリ袋導入、一般に普及。 男性の買ひ物姿が見受けられるようになる
昭和52年	1977 小西綾(72)、駒尺喜美(52) 新宿区神楽坂に転居し、56番館に転居。1階に女性の為の集会室(1人100円)、独身婦人連盟の事務所、本多勝一の著作を出版するすずさわ書店が入った。	1977 第三回魔女コンサート	1976 ロッキード疑獄事件、田中角栄ら逮捕
昭和52年	1977 近山(28) ホーキ星運営メンバーとなる 佐々木敏子(25)ホーキ星の貸会場利用。 ●近山、榎引、佐々木の3人が出会う 駒尺喜美著『雑民の魂』出版		1977 雑誌『クロワッサン』創刊
昭和53年	1978 小西(73)、駒尺(53)主催の中高年のためのデスク「パーティーどん」スタート(~80年) 小西綾(74)新聞を読んで考える会「でんぐりがえし」を始める(~80) ●この頃、小西、駒尺と3人は出会う。 駒尺喜美『魔女の論理』出版		1978 成田新東京国際空港開港
昭和54年	1979 小西・駒尺共著『魔女の審判』出版	1979 第一回東京女子マラソン	1979 米中国交正常化
昭和55年	1980 小西、近山、榎引、佐々木ら女の展覧会「花ふぶき」開催 駒尺喜美 日本女性学会代表理事就任 駒尺喜美著『高村光太郎』出版 駒尺喜美編『妻たちの復讐』出版	1980 中山千夏参議院議員 当選 日本女性学会設立 映画「ポーポワール自身を語る」公開	1980 モスクワオリンピックは初の共産圏開催だったが、ソビエト連邦のアフガニスタン侵攻を理由に、米・日・西独不参加 ジョン・レノン暗殺

【近山恵子の歩み】
 ——女性運動家・仲間との「友だち家族」の歴史

友だち家族の歴史 (小西綾、駒尺喜美、近山恵子、榎引順子、佐々木敏子)		女性・コミュニティの動き	日本と世界の動き
昭和56年	1981 小西さんを囲み、56番館にて、「あっ、わかったの会」始まる。週1回仕事帰りに集まり、夕食を共にしてから自分史レポートを発表、話し合いを継続(～86)* 駒尺喜美編『結婚の向こう側』出版	1981 アンネ(生理用品)CMに男性を初起用、桑田佳祐市川房江参議院議員在職中のまま逝去、享年88 映画「八十七歳の青春」市川房江生涯を語る」上映	
昭和57年	1982 小西綾(78)「声なき叫び」(女たちの映画祭)で講演。 駒尺喜美編『魔女的文学論』出版 Oビデオで小西綾を撮り始める	1982 「女たちの映画祭」開催	1982 宅急便始まる
昭和59年	1984 オバンダーズ主催(近山、榎引ら)の「ザ・ショー 女のルネッサンス」開催。 小西綾(80)もメンバーとして参加、講演も行い、安来節を唄う*	1983 「強姦救援センター」活動開始 1984 国籍法改正、父母両系血統主義となる ビデオカメラ軽量化により、一般に普及し始める	
昭和60年	1985 「女のルネッサンスPart II 2020年発 不思議の旅」開催、小西綾(81)未来をイメージした即製自作の衣装で講演。 駒尺喜美編、田嶋陽子、佐々木敏子ら共著『女を装う一美のくさり』出版	1985 「シニアハウス大松」開設* 男女雇用機会均等法制定	
昭和61年	1986 小西、近山 高橋英與のシニアハウス大松見学*	1986 高橋英與著『街の中の小さな共同体』出版	1986 チェルノブイリ原発事故
昭和62年	1987 小西綾講演集『女 あんたが主人公 小西綾おおいに語る』駒尺喜美・あつわかったの会編出版 駒尺喜美著『漱石という人』出版 小西、駒尺、高橋、近山、株式会社生活科学研究所設立 近山(38)生活科学研究所に転職		1987 労働者派遣法成立 国鉄分割・民営化
昭和63年	1988 近山(39) 母モヨとシニアハウス新町へ入居	1988 大阪市「シニアハウス新町」*開設、1階に民間初のデイサービスを併設、鍼灸治療院、往診クリニックも入り、現在のサ高住、小規模多機能型居宅介護、統合医療の機能を備えていた。	
昭和64年	1989 駒尺喜美(64) 参議院選「ちきゅうクラブ」比例代表で立候補、「女性の権利省」設立を訴えるが落選		1989 ベルリンの壁崩壊
平成2年	1990 小西(86)、近山、アメリカの高齢者住宅を視察 小西、駒尺(66)シニアハウス江坂へ入居 榎引(39)生活科学研究所へ転職	1990 大阪府吹田市「シニアハウス江坂」開設、1・2階クレヨンハウス、2階歯科医院、3階ホール、4階貸事務所、5～7階高齢者住宅	
平成3年	1991 小西・駒尺「ウーマンズスクール開講(～01年)* 小西綾(87)ウーマンズスクール校長就任 駒尺喜美(67)自身で作詞・作曲した歌を歌い、踊り、ライブアーティストとしてデビュー 駒尺喜美著『紫式部のメッセージ』出版 駒尺喜美・五木寛之往復書簡『風のホーキにまたがって』出版 佐々木(39)生活科学研究所へ転職		1991 ソビエト連邦解体 バブル崩壊始まる
平成4年	1992 駒尺喜美著『高村光太郎のフェミニズム』		
平成6年	1994 小西綾 90歳のトーク「わたしの幸せは、みんなが幸せになることです。あんたたちはまだ若いんやから、思ったことをドンドンやりなさい」と語る。 駒尺喜美著『吉屋信子』出版 駒尺喜美・五木寛之往復書簡文庫化『女の本音、男の本音』(『風のホーキにまたがって』を改題)	1994 国連、国際家族年 神代尚芳著『自分らしく死にたい 人生の完成を援助する医師の記録』出版	1994 日本初「レスビアン&ゲイパレード」
平成7年	1995 小西(91)、駒尺(71)箕面市コーポラティブ住宅アルボへ転居、江坂が公害の為		1995 阪神・淡路大震災 オウム真理教による地下鉄サリン事件
平成10年	1998 近山恵子著「こんにちほとんどが家族」出版	1998 セクシャルハラスメント防止法施行 高橋英與著『老後をさびしく耐えますか、ともに楽しく生きていきますか』出版	1997 京都議定書採択 1998 前年まで2万人台前半を推移していた自殺者が初めて3万人超える。中高年男性が目立つ
平成11年	1999 近山恵子、久田恵、舩添要一、橋幸夫らと共著『親の介護が私を変えた』出版	1999 (一社)コミュニティネットワーク協会設立* 2000 低用量ビルが医薬品として承認	2001 アメリカ同時多発テロ
平成15年	2003 ● 駒尺喜美「伊豆の國構想」 小西、駒尺、近山、伊豆市「友だち村」へ転居、わかった会館開設* 駒尺喜美「智恵子抄セミナー」 駒尺喜美「少女歌劇と夏目漱石を論じるセミナー」など主催。 駒尺喜美、中村隆子共著『お気楽フェミニストは大忙し』出版 DVD「わかった女の発見」をつくる。 小西綾友だち村自宅で逝く、享年99歳	2002 静岡県伊豆市に「友だち村」開設 2003 東京都日暮区に「コミュニティ/コレクティブハウスかんかん森」開設* 大塚女子アパートメント解体(石原都知事)	2003 米・英、国連決議なくイランへ侵攻
平成16年	2004 近山恵子ら共著『続・あなたが始めるデイサービス 誰でもわかる設立から運営まで』出版		
平成17年	2005 駒尺喜美著『＜魔女＞が読む源氏物語』出版 駒尺喜美友だち村自宅で逝去、享年82歳	2005 夫婦同氏の原則を維持していたタイで夫婦別姓が選択できるようになり、日本が唯一夫婦別姓を選択できない国となる。	2005 日本の人口は戦後初めて、死亡数が出生数を上回り、自然減少となる

【近山恵子の歩み】
 ——女性運動家・仲間との「友だち家族」の歴史

友だち家族の歴史 (小西綾、駒尺喜美、近山恵子、榎引順子、佐々木敏子)			女性・コミュニティの動き	日本と世界の動き
平成21年	2009	田中喜美子著『漱石を愛したフェミニスト（駒尺喜美伝）』出版	2006 (一社)コミュニティネットワーク協会「那須100年コミュニティ」構想スタート 2009 第一回地域プロデューサー養成講座開講 2010 栃木県那須町に「ゆいま〜る那須」開設	2008 リーマンショック
平成23年	2011	福島原発事故の為、ゆいま〜る那須入居者、ゆいま〜る伊川谷へ一時避難。	2012 (一社)コミュニティネットワーク協会の共同墓地企画「ゆいま〜る合葬墓」(神戸市)が開眼* 映画松井久子監督「何を怖れる一フェミニズムを生きた女たち」完成	2011 東日本大震災 福島原発事故
平成27年	2015	近山(66) ゆいま〜る那須へ転居 近山恵子・米沢なな子/(一社)コミュニティネットワーク協会監修『自分で選ぶ老後の住まい方・暮らし方』出版	2014 岩波書店より『何を怖れる一フェミニズムを生きた女たち』映画のインタビュー内容が活字となる。 2015 高橋英與著『コミュニティ革命』出版	2014 「外国人は生活保護対象外」と最高裁判決 2015 安全保障関連法案(安保法制)が与野党の激しい攻防の中成立。「集団的自衛権の限定的な行使」が法制化された。 「夫婦同姓は合憲」と最高裁判決 東京都渋谷区同性パートナーシップ条例成立
平成28年	2016	佐々木(64)ゆいま〜る那須へ転居、 榎引(65)、母美智(90)と共にゆいま〜る那須へ転居	2016 高橋英與、袖井孝子他共著『「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり』出版 2018 「那須まちづくり広場」開設 2019 フラワーデモ始まる。花を身に着け、性暴力へ抗議する社会運動。毎月11日に行われている 2020 「那須まちづくり広場」国土交通省地域づくり表彰事業・小さな拠点部門『国土交通大臣賞』受賞	2018 グレタ・トゥーベリ気候変動問題を訴え、学校ストライキ開始 財務省決裁文書改ざんを苦に近畿財務局赤井俊夫さん自殺 2020 新型コロナウイルス感染症の世界的流行 日本自殺者2万1081人11年ぶりの増加となる。男性は減少したが、女性が増加
令和3年	2021	近山、榎引、佐々木「那須まちづくり広場」に「わかった会館那須」を開設 9月『Oil(老いる) OVER50人生完成期の自由な暮らしシリーズ』刊行(ジャパンマシニスト社刊)	2021 (一社)コミュニティネットワーク協会「団地プロデュース型コミュニティ再生計画が「住まい環境整理モデル」に選考、「共生サロン西池袋(シェアハウス型セーフティネット住宅)」入居者募集開始 衆議院選挙投票率女55.8%、男56.0%。	2021 斎藤幸平著『人新世の「資本論」』新書大賞を受賞、メガヒットする
令和4年	2022	那須まちづくり広場のアートギャラリーにて、「新しい暮らし方『友だち家族』を生きる」開催 1月8日(土)ビデオ上映会「ココマステージ」開催	2022 ひろばの家・那須2 オープン ひろばの家・那須3オープン予定 みとりえ オープン予定 那須まちづくり広場 グランドオープン 学びと実践の連続講座自立と共生大学(仮)開校予定	
令和5年	2023		2023 自立の方向けサービス付き高齢者向け住宅「ひろばの家・那須1」竣工予定	